

## 設計部門で時間の30%を浪費続けている緊急の改善課題！ 設計のムダ退治と手戻り・後処理削減・ 予防の上手な進め方

設計最大のムダ(能力浪費=手戻り)削減・予防法を具体的ケーススタディで解説

◆日時：2019年12月18日(水) 10:00~17:20 ◆受講料：(消費税等込) 1名:49,500円  
◆会場：連合会館 402号室 同一セミナー 同一企業同時複数人数申込みの場合 1名:44,000円  
(東京・JRお茶の水駅下車 徒歩約5分)

設計手戻り・後処理の実態、設計業務のムダ退治、設計の手戻り・  
後処理の削減と予防取組み、デザインレビューの取組みと指導の対処法について  
講師の豊富な経験と多くのケーススタディで具体的に解説する特別セミナー!!

### 【講師の言葉】

あなたの所では、

- ① DR時指摘、検図時指摘、製造からの変更要求、客先からのクレーム手直しに30%の時間が費やされている実態と原因をきちんと把握し適切に削減する努力をしていますか？
- ② 大勢で類似内容の技術情報創出を繰り返してはいませんか？
- ③ 事前・途中の指導を疎かにし、完成してから点検・手直しを行わせてはいませんか？
- ④ ルールと分担が明確にしていなかったため同じ内容を何人もが繰り返し点検・審査してはいませんか？
- ⑤ 本人の注意で防げる間違いを、他人が検図してはいませんか？
- ⑥ 違いを作りこませておいて、上司・先輩があとから探し指摘するDRや検図をしてはいませんか？
- ⑦ 間違いによるトラブルをその都度周知徹底せず、類似トラブルを繰り返し発生させてはいませんか？
- ⑧ 部下に対する安易な妥協で、結局トラブル発生に繋がってはいませんか？
- ⑨ いきなり実物TRYさせ、失敗に繋がってはいませんか？
- ⑩ 点検・審査を何度繰り返しても、クレーム削減にならず困ってはいませんか？

これらのムダはいずれも担当者の能力浪費と捉え、これを組織的に少なくする取り組みが必要です。

そこで本セミナーでは、講師の豊富な経験を基に101のケーススタディで、具体的な対処法をご紹介します。是非この機会に、多くの方々のご参加をお勧めいたします。

- 【セミナーのポイント】
- ☆ 設計業務で能力浪費(ムダ)とは
  - ☆ 外注活用面におけるムダ
  - ☆ 日常設計業務におけるムダ
  - ☆ 補助者活用面におけるムダ
  - ☆ 設計変更を発生させるムダ
  - ☆ 教育面におけるムダ
  - ☆ 資料整備・活用面におけるムダ
  - ☆ 上司・先輩指導面におけるムダ
  - ☆ 機械化面におけるムダ
  - ☆ 設計投入時間面におけるムダ・・・等

### ◆セミナーお申込要領

#### ●申し込み方法

- ・弊社ホームページの申込欄又は、FAXかE-mailにてお申し込みください。
- ・折り返し、受講票、請求書、会場案内図をお送り致します。
- ・開催日の7日前以内のキャンセルは、お受け致しかねますので、必要に応じ代理の方のご出席をお願いします。
- ・開催日の7日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

#### ●お支払い方法

受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。経理上、受講料のお支払いがセミナー開催後になる場合は、お支払日をお知らせ願います。振り込み手数料は御社の御負担にてお願いいたします。

#### ●申込先



(株)TH企画セミナーセンター

〒108-0014 東京都港区芝5-30-1-210

TEL:03-6435-1138

FAX:03-6435-3685

E-mail:th@thplan.com

検索 TH企画 → サイト内検索 1218 (開催日)

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

<http://www.thplan.com/>

### ◆プログラム◆

【講師】 伊豫部技術士事務所 所長 技術士(機械部門) 伊豫部 将三 先生  
富士重工(株)に17年間勤務の後独立、150社以上で設計技術部門の業務改善の支援に従事

#### 1. 設計手戻り・後処理の現状実態例

- (1) 現状時間の30%が手戻りで消失状態。その中身は24%がDR時指摘と出図前検図時で消失、出図後製造・取引先からの修正要求等で23%を消失、出荷前立会い時で指摘で8%を消失、出荷・検収後客先からのクレーム対応で45%を消失の現実と実態。
- (2) 手戻り原因では、65%がDR時の事前指導方法の仕組みに欠陥、35%が自己品質確保方法の仕組みに欠陥。
- (3) DR(Design Review=設計審査)は点検会から指導会へ転換が必要。本人で確保できる品質は、本人へ確保させる原則の確立とルール・ツールと修得法。
- (4) 管理者・リーダー・ベテラン・新人・協力者の各階層別に必要な品質確保方法と教育・訓練取組法。

#### 2. 設計業務におけるムダ退治のケーススタディ 101例の具体策で紹介

- (1) 社内蓄積保管資料探索に、その都度時間をかけるムダ
- (2) 同一仕様技術資料を繰り返し新規出図するムダ
- (3) 類似仕様決定のため、その都度繰り返し新規試作・試験するムダ
- (4) あらかじめ決められる技術基準を前もって決めていないため、その都度判断を加えるムダ
- (5) フリーハンド・メモ・ポンチ絵(マンガ)・イラストで済む情報を、定規で製図・清書するムダ
- (6) 関係部署・担当者間での連絡不備、調整がないため類似製品での機種を増加させているムダ他、計101項目のケーススタディでご紹介します。

#### 3. 設計の手戻り・後処理の削減と 予防取組み法60例の具体策で紹介

- (1) 「部下・同僚・外注設計作成図書(ドキュメント)の事後検図、出図前の点検・確認」
- (2) 「客先クレーム処理」
- (3) 「検図による図面修正、手戻り、手直し」
- (4) 「設計仕様・設計内容事後チェック」
- (5) 「現場からのクレーム処理」
- (6) 「量試後のコストダウン再検討」、他  
管理者層・リーダー層・ベテラン層・新人層・協力者層の各階層別に具体的ケーススタディで計60項目ご紹介いたします。

#### 4. DRに重点を置く改善と指導法50例の 具体策で紹介

- (1) DR0での取組み法
- (2) DR1での取組み法
- (3) DR2での取組み法
- (4) DR組織および事前準備関連の取組み法
- (5) 商品企画・開発仕様作成実施取組み法
- (6) 試作品設計と検証取組み法
- (7) 基本設計着手時の不具合予防取組み法
- (8) 詳細設計時の不具合予防取組み法、他  
管理者層・リーダー層・ベテラン層・新人層・協力者層の具体的ケーススタディで計50項目ご紹介いたします。

#### 5. 質疑応答およびコンサルテーション

●申込書 ・2019年12月18日(水)「設計部門で時間の30%を浪費続けている緊急の改善課題！  
設計のムダ退治と手戻り・後処理削減・予防の上手な進め方」

会社名	〒	住所
TEL		FAX
正式所属		正式所属
受講者名		受講者名
E-mail		E-mail
振り込み 予定		通信欄